

「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略（案）に係る
市民意見募集の結果について

京都市版地方創生「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」の推進に向け、これまで市民・関係団体等との意見交換や取組提案募集等を行いながら、市会での御議論を踏まえて、8月17日に取組の指針となる「総合戦略」の案をとりまとめ、パブリック・コメントを実施いたしました。

この度、その実施結果をとりまとめましたので、御報告いたします。

1 市民意見募集の結果について

(1) 募集期間

平成27年8月18日（火）～平成27年9月16日（水）

(2) 御意見数

意見総数：707件 意見者数：290人

(3) 御意見をいただいた方の属性

ア 年齢（人）

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
3	58	36	50	56	30	32	25

イ 性別（人）

男性	女性	不明
142	105	43

ウ 居住地

市内：214人 市外：61人 不明：15人

北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	不明
16	20	35	18	3	7	14	6	41	7	17	30

2 御意見の内容と本市の対応・見解（詳細は別紙参照）

凡例

- ①：御意見の内容・趣旨を総合戦略（案）に反映させていただきます。
- ②：総合戦略（案）や本市の取組に賛同・期待・協力する，自ら取り組みたい等の御意見であり，いただいた御意見を踏まえて取組を進めてまいります。
- ③：総合戦略（案）に記載の内容・施策の方向性・事業等に含まれる趣旨の御意見であり，いただいた御意見を踏まえて取組を進めてまいります。
- ④：多様な観点からの御意見・御提案として，取組の推進や点検等に際して参考にさせていただきます。

分 類	①	②	③	④	総計
総合戦略（案）全体に関するもの	11	56	27	33	127
市民等取組提案に関するもの	1	16	1	7	25
結婚・出産・子育てに関するもの	15	13	72	55	155
国内外から訪れ，学び，住み，交流する人の流れをつくることに関するもの	8	7	55	74	144
経済の活性化，安定した雇用の創出に関するもの	4		15	13	32
心豊かな生き方，暮らし方を大切にする社会づくりに関するもの	6	10	27	28	71
安心安全で魅力と個性あふれるまちづくりに関するもの	6	16	27	67	116
その他	4			33	37
総 計	55	118	224	310	707

(1) 御意見の内容・趣旨を総合戦略（案）に反映させていただくもの（55件）

※ 各意見の（ ）内の件数は、記載の意見を含めた同趣旨の意見の件数

- この戦略を市内はもちろん市外、全国へしっかりとPRすることが必要である。（10件）
反映→ 戦略（案）の「IV 推進体制等」に「4 積極的な情報発信」として項目を追加し、情報発信を推進する記載を追記（P65）
- 人口減少に問題があるといわれているが、逆に良い点もあるのではないか。（1件）
反映→ 戦略（案）の「2 人口の将来展望」の「(5) 一定の人口減少社会を見据えた対応」に「一定の人口減少に対応し、そこで生じるプラスの面（ごみ問題、環境問題への影響等）も活かしつつ」取り組むことを追記（P23）
- 子育ては、お金よりも時間の方が切実な問題である。大学在学中に子どもを産みやすい環境をつくってはどうか。（1件）
反映→ 戦略（案）の基本目標① 施策1の「施策の方向性」に、大学のまち・学生のまちの特性を踏まえ、学生や院生が結婚や子育て等の人生設計を考え、その実現に少しでも早く踏み出せる環境づくり等に取り組むことを追記（P31）
- 低所得や一人親で子育てをしている人への支援が必要である。（4件）
反映→ 戦略（案）の基本目標① 施策1の「施策の方向性」に、子育て家庭への経済的な支援や、ひとり親家庭への支援の記載を追記（P31）
- 子どもがのびのびと安全に遊べる公園づくりを進めてほしい。（4件）
反映→ 戦略（案）の基本目標① 施策1の「施策の方向性」に、「市民等との協働による公園整備」を追記（P31）
- 子育てについて、父親側への情報提供やサポートが不足している。（6件）
反映→ 戦略（案）のリーディング事業「家庭での家事・子育て、仕事、地域活動など、女性の様々な“輝き方”の情報発信等」に、男性の家事・子育て等への積極的関与を支援するための情報提供の記載を追記（P33）
- 「学校運営協議会」について、これまでの実績の評価を記載してほしい。また、「設置校拡大」ではなく、「全小学校、中学校」と標記しなければ、市域の均衡のとれた地域コミュニティの活性化につながらない。（1件）
反映→ リーディング事業「保護者・地域が学校運営に参画する学校運営協議会の設置校拡大」に、政令指定都市初で全小学校に設置済み、中学校では平成32年度に全73校に設置予定であることを追記（P34）
- 子育て支援等の施策を市外、府外の人にアピールしていく方法を考える必要がある。（2件）
反映→ 戦略（案）のリーディング事業「移住促進・支援施策の推進」及び「京都に住む魅力のPR冊子の制作と移住希望者への情報発信」に、移住希望者の子育て等のニーズへの対応や、子育て情報の発信等の内容を追記（P36）
- 移住に限らず、例えば東京圏と京都市内の二地域での居住促進にも取り組んではどうか。（1件）
反映→ 戦略（案）のリーディング事業「移住促進・支援施策の推進」に、二地域居住などライフスタイルの希望に対応した移住促進・支援の記載を追記（P36）

- ・ 移住者に京都の良いところ、悪い（改善して欲しい）ところをヒアリングし、課題解決の糸口にするのがいいのではないか。（3件）

反映→ 戦略（案）のリーディング事業「移住促進・支援施策の推進」に、他都市から移住してきた方などの協力を得て、外から見た京都の魅力や課題を探り、参考にしながら施策の効果的な推進を図ることを追記。（P36）

- ・ 観光客の増加が、しっかりと市民に還元されるようにならなければならないし、それが市民にも伝わって理解されないといけない。（3件）

反映→ 戦略（案）の基本目標② 施策2の「施策の方向性」に、京都経済を活性化し、安定した雇用の創出を図り、税収の増加や都市格の向上を通じて、市民生活の向上につなげることを追記（P37）

- ・ 障害者がやりがいのある仕事に就き、自立した生活を送れることは、京都の魅力になる。障害者の雇用や職場での定着支援も掲載すべき。（4件）

反映→ 戦略（案）の基本目標③ 施策3の「施策の方向性」に、障害のある方など多様な労働参加を促進する記載を追記（P45）

- ・ 保育園や幼稚園と高齢者（施設）が、京都ならではの文化体験を一緒に行うことで、京都の伝統文化の継承につながる。（1件）

反映→ 戦略（案）の基本目標④ 施策1の「施策の方向性」に、高齢者と子どもなどが世代を超えて交流し、共に文化を楽しみ、学び合う機会づくり等に取り組むことを追記（P48）

- ・ 京の地蔵盆は、地域や子どもの教育にとって、大変重要な文化だと思う。（5件）

反映→ 戦略（案）のリーディング事業「京都遺産制度の推進」に、京都市独自の制度である“京都を彩る建物や庭園”制度，“京都をつなぐ無形文化遺産”制度を推進し、引き続き京都市内の文化遺産の維持・継承・活用に努めることを追記（P48）

- ・ レンタル自転車や駐輪場などを主要箇所に設けるべき。自動車、自転車、歩行者の分離とモラル向上を進める。（3件）

反映→ 戦略（案）の基本目標⑤ 施策2の「施策の方向性」に、自転車を利用しやすい環境の整備やマナー改善の記載を追記（P56）

- ・ 取組提案については、大学の授業の一環として、提案を考えてもらえば、学生目線の発想がより多く集まるのではないかと思う。（1件）

反映→ 戦略（案）のリーディング事業『「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」取組提案募集の実施』に、実施に当たっては、市民・地域・様々な団体はもとより、学生等から積極的な提案を募ることを追記（P55）

- ・ 「北部山間地域の振興」の記載内容で、「京北地域を中心とした」とあるが、対象が京都市全体の北部山間地域なら、「北部山間地域」と書く方がよい。（1件）

反映→ 戦略（案）のリーディング事業「北部山間地域の振興」の記載内容を、「北部山間地域の活性化に取り組む。」等の記載に修正（P59）

- ・ 「リーディング事業」など外来語のような言葉が多い。言葉の説明がほしい。（4件）

反映→ 戦略（案）の「リーディング事業」、「グリーン産業」等の言葉に注釈を追記

(2) 総合戦略（案）や本市の取組に賛同・期待・協力する，自ら取り組みたい等の御意見であり，いただいた御意見を踏まえて取組を進めるもの（118件）

- ・ 安心して暮らせる京都を住民とともにつくっていけば，人口減少社会に対応できるモデルとなると思う。
- ・ 人口減少や空き家の増加はよく耳にするので，市と市民が協力して現状改善に取り組もうとするのは素晴らしい。
- ・ 地方創生を進めるには，市民もしっかりと意識を持って取り組んでいかなければならない。
- ・ 京都市の「こころの創生」はとてもよいことだと思う。
- ・ 京都市が取り組まれている事業に，何か支援・協力できるものがあれば参加したい。
- ・ 「地方創生」という言葉には，上から目線の印象があると思っていたが，京都市の戦略では，一人一人に目を向けて進めようとしているので，好感を持てた。
- ・ 京都の持ち味，財産，課題をわかりやすく知ることができた。
- ・ 50年，100年先のこととなると，考えることを先延ばしにしていまいがちだが，今回の総合戦略案を読んで，大変身近な問題だと思えることができた。
- ・ 待機児童については良くなったと思う。保育園も拡充され，現在住んでいる地域では乳児園ができ，とても助かっている。
- ・ 住んでいる地域でも，定住者の増加，農業活性化，地域の魅力向上・情報発信などに取り組んでいる。 など

(3) 総合戦略（案）に記載の内容・施策の方向性・事業等に含まれる趣旨の御意見であり，いただいた御意見を踏まえて取組を進めるもの（224件）

- ・ 京都府や滋賀県をはじめ周辺の自治体とも連携して，推進してもらいたい。
- ・ 保育園だけでなく，児童館，病児施設など，共働きでも子育てしやすい環境づくりをお願いしたい。
- ・ 放課後に，子どもが安心して過ごせる場所を確保して欲しい。
- ・ どの企業にも，子育てしながら安心できる態勢が必要。
- ・ 多言語での観光地説明など，外国の方に優しい環境整備をすすめてはどうか。
- ・ 人口減少に対応するため，移住希望者を募って，空き家活用を推進して欲しい。
- ・ 学生に卒業後も定住してもらうためには，安定した雇用と安価な住居が必要である。
- ・ 子どもには，もっと京都のことを知ってほしいので，寺社や歴史的なスポットを訪れる課外授業をたくさん実施する教育プログラムにしてほしい。
- ・ 京の地蔵盆は，地域や子どもの教育にとって，大変重要な文化だと思う。
- ・ 子ども会などの地域活動，地域コミュニティの活性化で，京都の魅力が広がり，再発見につながる。
- ・ 山間部の小規模校に市内から小学生が交流に来ることで，その良さを経験してもらい，山間地の子どもが多くの子どもと育ち合えたらいいと思う。 など

(4) 多様な観点からの御意見・御提案として、取組の推進や点検等に際して参考にさせていただくもの（310件）

- ・ 地方創生を進めるためには、財源や権限を中央から地方に移譲し、各地域が特色を出せるようにしなければならない。
- ・ 女性の社会進出が進み、生き方の選択肢が増えたことで、結婚しない女性も増えたのだと思う。
- ・ 「こころの創生」がある分、総合戦略の冒頭が人口減少社会に対する対策っぽく感じてしまうのが、少し残念に感じる。
- ・ シンボリックな事業は、PRの視点も加味し、理念を象徴的に具現化するような革新性、創造性を持った事業を選ぶ必要がある。
- ・ 総花的な案に思えるので、もう少し的を絞るべきではないか。
- ・ 京都は多くの外国人が訪れるので、京都を愛する外国人の意見も採り入れるシステムができればいいと思う。（特に町並保全、子育て、教育、仕事と生活のバランスなど）
- ・ 人口減少を食い止めるため、託児所を整備して働きやすくする。その中で、大学生をバイトとして雇い、子育ての経験を積ませる。
- ・ 建築規制や高さ規制を見直し、自然増が期待できる子育て世代の定住を図る施策が必要である。
- ・ 毎年3,000人の転入超過を維持するという人口ビジョンは、達成することが困難だと思う。
- ・ 京都を訪れる人に、京都人は何を伝授すればよいかを考える必要がある。 など

3 今後の予定

- 9月29日（火）
- ・ 第4回京都市まち・ひと・しごと・こころ創生本部会議開催
 - ・ 「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略策定
 - ・ チーム京都「移住応援チーム」発足